Ⅰ．履　修

1. 科目選択の注意

（1）修士課程修了要件

２年以上在学し、所要の授業科目について所定の単位（30単位）を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、修士論文の審査および最終試験（口頭試問）を受け、これに合格した者に、「修士（国際コミュニケーション学）」が授与されます。

ただし、4年を超えて在学することはできません。

（2）博士後期課程修了要件

３年以上在学し、所定の単位を修得し、かつ必要な研究指導を受けた上で、博士学位論文の審査および試験を受け、これに合格した者に、「博士（国際コミュニケーション学）」が授与されます。

ただし、6年を超えて在学することはできません。

（3）本研究科の設置科目

本研究科の教育は、授業科目および学位論文作成等に対する指導（以下「研究指導」）によって行われます。本研究科に設置される科目の種類は以下のとおりです。

<table>
<tr><th colspan="6">科目の種類</th></tr>
<tr><td colspan="3">修士論文</td><td colspan="3">博士論文</td></tr>
<tr><td colspan="3">研究指導</td><td colspan="3">研究指導（コア研究）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">授業科目</td><td colspan="2">演習科目</td><td colspan="3">インデペンデント・スタディー</td></tr>
<tr><td rowspan="3">講義科目</td><td>基礎科目</td><td rowspan="3">授業科目</td><td colspan="2">セミナーA</td></tr>
<tr><td>専門科目</td><td colspan="2">セミナーB</td></tr>
<tr><td>関連科目</td><td colspan="2"></td></tr>
</table>

2016年度の学科目配当および担当者は、学科目配当表に示すとおりです。なお、学科目は、すべて半期（春学期・秋学期）科目（2単位）であり、春学期もしくは秋学期に開講されます。

（4）学科目選択にあたって

1. 履修科目の選択、論文の作成及び研究一般については、指導教員の指示に従ってください。
2. 毎学期の始めに、その学期において履修する科目を選択し、指定された期日に科目登録を行わなければなりません。
3. 指導教員の指示によっては、所定の科目のほか、他研究科または他箇所が設置している科目を履修してください。
4. 科目登録した科目以外の科目を聴講することは認めません。また、聴講しても単位は与えられません。
5. 各学年を通じて、すでに合格した同一科目を原則として再度履修することはできません。
6. 不合格となった科目を再履修することは可能です。
7. 科目選択にあたっては、時間割（曜日と時限）と照合して、2科目以上が同一時間に重ならないように注意してください。
8. 本研究科設置科目の授業時間帯は、月～土曜日の1～6時限に設置されます。

時　限	1	2	3	4	5	6
時　間	9：00 ～ 10：30	10：40 ～ 12：10	13：00 ～ 14：30	14:45 ～ 16:15	16:30 ～ 18:00	18:15 ～ 19:45

2. 科目履修

〔修士課程所定単位の修得方法〕

<table>
<tr><th>年次</th><th>学期</th><th>研究
指導</th><th>演習
科目</th><th>基礎
科目</th><th>専門
科目</th><th>関連
科目</th><th>登録制限
単位数</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>第1学期</td><td>—</td><td>2単位</td><td rowspan="4">4単位
以上</td><td rowspan="4">6単位
～
18 単位</td><td rowspan="4">0単位
～
12 単位</td><td>14 単位</td></tr>
<tr><td>第2学期</td><td>—</td><td>2単位</td><td>14 単位</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>第3学期</td><td>—</td><td>2単位</td><td>14 単位</td></tr>
<tr><td>第4学期</td><td>—</td><td>2単位</td><td>14 単位</td></tr>
<tr><td colspan="3">最低必要修得単位数</td><td>8単位</td><td>4単位</td><td>6単位</td><td>------</td><td>30 単位</td></tr>
</table>

≪研究指導≫

① 指導教員が担当する研究指導を履修しなくてはなりません。
研究指導は成績評価の対象になりますが、単位としては計上されません。

② 研究指導を受けることが修了要件となっていますので、指導教員の指示に従って、研究指導を受けるようにしてください。

③ 延長生となった場合も、修士論文の最終試験に合格するまで履修する必要があります。

≪演　　習≫

① 指導教員が担当する演習科目を必修として履修します。

② 演習Ⅰ、Ⅱとも各学期2単位、計8単位修得してください。

③ 指導教員以外が担当している演習について、研究の必要上、履修を希望する場合は、指導教員および希望する演習科目の担当教員の許可のうえ、履修を認めることがあります。この場合に修得した単位は、「自由科目」となり、修了に必要な単位とはなりません。

≪基礎科目≫

① 2科目（4単位）を選択必修科目として履修しなければなりません。

② 基礎科目は、各学期最大4単位、年間8単位を超えて履修することはできません。

③ 基礎科目を修了単位として算入できるのは6単位までとなります。
6単位を超えて履修する場合は、「自由科目」となり、修了に必要な単位とはなりません。

④ 1年次に2科目（4単位）を履修し、修得することが望まれます。

⑤ すでに合格した科目と同一科目で異なったクラスの履修が例外的に認められた場合は、「自由科目」となり、修了に必要な単位とはなりません。

≪専門科目≫

① 専門科目は所属する Study Plan より、3科目6単位以上を選択必修科目として、履修しなければなりません。

② ①の6単位以外は、他の Study Plan の科目からも選択履修することができます。

③ 専門科目については、履修の制限はありません。各自の履修計画に従い、修了要件を満たすように、選択履修してください。

④ 専門科目で科目担当教員が変更となった場合は、すでに合格した科目であっても再度履修が認められる場合があります。詳細は、シラバスを参照してください。

⑤ Study Plan を変更した場合は、変更後の Study Plan の専門科目を3科目6単位以上履修しなければなりません。

≪関連科目≫

より実践的なコミュニケーション・スキルの習得を目的として関連科目を設置しています。

関連科目は、履修の制限はありませんが、修了に必要な単位への算入は、最大 12 単位までとなります。

なお、以下の科目については、原則として、前学期までに、前提となる科目を履修し、単位を修得していなければ履修することはできません。ただし、1回目の授業（ガイダンス）に出席し、科目担当教員の承認を得た場合は、例外的に履修を認める場合があります。

前提となる科目	科目名
Introduction to Interpreting	Intermediate Interpreting
Intermediate Interpreting	Advanced Interpreting

≪科目名称、科目区分変更等による既得科目 （2015年度以前入学者対象）≫

科目名称および科目区分の変更等により、異なる科目に見えても同じ科目として扱われるものがあります。**変更前科目の単位を修得済みの場合、履修申請をしても「既得エラー」となり登録できません。**

変更前科目		変更後科目		変更内容	取扱い
科目名称	科目区分	科目名称	科目区分		
Introduction to Translation Studies	関連科目	Translation Studies	専門科目（文化）	科目名称・科目区分変更	変更前科目での単位を修得済みの場合は登録を認めない。
Translation Practices	関連科目	Translation Practices	専門科目（文化）	科目区分変更	
Communication Design	関連科目	Communication Design	専門科目（社会）	科目区分変更	

≪大学院全学共通設置科目≫

指導教員の履修指導において、研究上必要と認められた場合に限り、大学院全学共通設置科目を履修することができます。修得した単位を修了に必要な単位に算入できます。

≪他研究科提供科目≫

指導教員の履修指導において、研究上必要と認められ、科目を設置する研究科が許可する場合に限り、他研究科提供科目履修することができます。修得した単位を修了に必要な単位に算入できます。

≪自由科目≫

修了要件とは、関係なく履修する科目です。これらの科目で修得した単位は、修了要件単位には算入されません。

自由科目となる科目は以下のとおりです。

① 所定単位（6単位）を超えて履修する場合の「基礎科目」

② 指導教員以外が担当する演習科目

③ 大学院全学共通設置科目を除く、グローバルエデュケーションセンターの設置科目

④ 日本語教育研究センター設置の外国人留学生対象の日本語科目

〔博士後期課程所定単位の修得方法〕

<table>
<tr><th>年次</th><th>学期</th><th>研究指導
（コア研究）</th><th>インデペンデント
スタディー</th><th>セミナーA</th><th>セミナーB</th></tr>
<tr><td rowspan="2">1</td><td>第1学期</td><td>—</td><td rowspan="4">2科目
選択必修</td><td rowspan="4">2科目
4単位
選択必修</td><td rowspan="4">2科目
4単位
選択必修</td></tr>
<tr><td>第2学期</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">2</td><td>第3学期</td><td>—</td></tr>
<tr><td>第4学期</td><td>—</td></tr>
<tr><td rowspan="2">3</td><td>第5学期</td><td>—</td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>第6学期</td><td>—</td></tr>
<tr><td colspan="4">最低必要修得単位数</td><td>4単位</td><td>4単位</td></tr>
</table>

≪研究指導（コア研究）≫

① 指導教員が担当する研究指導を履修しなくてはなりません。
研究指導は成績評価の対象になりますが、単位としては計上されません。

② 研究指導を受けることが修了要件となっていますので、指導教員の指示に従って、研究指導を受けるようにしてください。

③ 延長生となった場合も、博士学位論文の最終試験に合格するまで履修する必要があります。

≪インデペンデント・スタディー≫

① 2科目を選択必修科目として履修しなければなりません。

② インデペンデンド・スタディーは成績評価の対象になりますが、単位としては計上されません。

≪セミナーA≫

2科目（4単位）を選択必修科目として履修しなければなりません。

≪セミナーB≫

2科目（4単位）を選択必修科目として履修しなければなりません。

≪修士課程設置科目≫

指導教員の履修指導において、研究上必要と認められた場合に限り、修士課程設置科目を履修することができます。
修得した単位は修了に必要な単位に算入されません。

≪大学院全学共通設置科目≫

指導教員の履修指導において、研究上必要と認められた場合に限り、大学院全学共通設置科目を履修することができます。修得した単位は修了に必要な単位に算入されません。

≪他研究科提供科目≫

指導教員の履修指導において、研究上必要と認められ、科目を設置する研究科が許可する場合に限り、他研究科提供科目履修することができます。修得単位は修了に必要な単位に算入されません。

≪自由科目≫

修了要件とは、関係なく履修する科目です。これらの科目で修得した単位は、修了要件単位には算入されません。

自由科目となる科目は以下のとおりです。

① 大学院全学共通設置科目を除く、グローバルエデュケーションセンターの設置科目

② 日本語教育研究センター設置の外国人留学生対象の日本語科目

3. 他機関・他箇所で修得した単位の認定（修士課程対象）

（1）他機関・他箇所履修の種類

A. 本研究科に正規学生として入学する前に、本研究科で先取り履修制度または本研究科科目等履修生として修得した単位は、10 単位を限度として、修了必要単位として認定されます。

B. 本研究科に正規学生として入学する前に、早稲田大学の大学院（他研究科）または他大学の大学院において、正規学生または科目等履修生として修得した単位は、入学時の本人の申請に基づき審査し、10 単位を限度として、修了必要単位として認定されます。

C. 海外留学（交換留学・私費留学）

研究科運営委員会の許可を得て、外国の大学またはこれに相当する高等教育機関に1学年または1学期相当期間在学し、修得した単位は、復学後、本人の申請に基づき審査し、10 単位を限度として、修了必要単位として認定されます。

D. 大学院全学共通設置科目

「大学院全学共通設置科目」の履修により修得した単位は、10 単位を限度として、修了必要単位として認定されます。なお、10 単位を超えて当該科目の単位を修得した場合は、自由科目として扱われます。

E. 他研究科提供科目

各研究科が「大学院全学共通設置科目」以外に他研究科生の履修を許可している科目の履修により修得した単位は、10 単位を限度として、修了必要単位として認定されます。なお、10 単位を超えて当該科目の単位を修得した場合は、自由科目として扱われます。

F. 国際教養学部科目（2016 年度以降入学者対象）

指導教員の履修指導において、研究上必要と認められた場合に限り、「国際教養学部科目」を履修することができます。研究科が指定した科目を履修した場合、8単位を限度として、修了必要単位として認定されます。修了単位に算入できる科目は、毎年度定めますので、詳細は、「国際教養学部（SILS）設置科目の履修について」をご確認ください。なお、8単位を超えて当該科目の単位を修得した場合は、自由科目として扱われます。

※A～F の各種別で修得した単位は、合計 15 単位まで修了必要単位に算入することができます。
詳細は、「（2）他機関・他箇所で修得した単位の認定」を参照してください。

G. 他箇所設置科目

早稲田大学の各箇所（グローバルエデュケーションセンター、日本語教育研究センター等）がオープン科目を中心に提供する科目のうち、大学院学生の履修が認められる科目があります。これらの科目は自由科目として履修することとなるため、修得した単位は修了必要単位には充当されません。

（2）他機関・他箇所で修得した単位の認定

他機関・他箇所修得単位は、以下のとおり取り扱います。

<table>
<tr><th colspan="2">種別</th><th>区分</th><th colspan="3">算入上限単位数</th><th>認定方法</th></tr>
<tr><td>A</td><td>入学前</td><td>本研究科入学前に本研究科で先取り履修制度または本研究科科目等履修生として修得した単位</td><td>10 単位</td><td colspan="2" rowspan="3">15 単位</td><td rowspan="2">本研究科入学時に指導教員の許可を得た科目について研究科運営委員会が承認します。</td></tr>
<tr><td>B</td><td>他機関・
他研究科</td><td>本研究科入学前に本学他研究科または他大学（外国の大学を含む）研究科で正規生または科目等履修生として修得した単位</td><td>10 単位</td><td rowspan="4">10 単位</td></tr>
<tr><td>C</td><td>他機関
（留学）</td><td>在学中の留学により他大学研究科で修得した単位</td><td>10 単位</td><td>帰国後に、指導教員の許可を得た科目について、研究科運営委員会が承認します。</td></tr>
<tr><td>D
E</td><td>大学院全学共通設置科目・他研究科提供科目</td><td>本学の大学院全学共通設置科目、他研究科が履修を認める科目を履修し修得した単位</td><td>10 単位</td><td rowspan="2">所定の期間に指導教員の許可を得た科目について、修了単位として認めます。</td></tr>
<tr><td>F</td><td>国際教養学部設置科目</td><td>国際教養学部設置科目を履修し修得した単位</td><td>8 単位</td><td></td></tr>
<tr><td>G</td><td>他箇所</td><td>他箇所設置科目を履修し修得した単位</td><td colspan="3">修了必要単位には算入されません。</td><td></td></tr>
<tr><td colspan="3">計</td><td colspan="3">15 単位以内</td><td></td></tr>
</table>

※A～F の各種別で修得した単位は、合計 15 単位まで修了必要単位に算入することができます。

※大学院全学共通設置科目・他研究科提供科目のうち、修了必要単位への算入を希望しない科目（自由科目扱い）については、履修制限はありません。

4. 成績評価と GPA

（1）成績評価について

成績評価をA＋，A，B，C，P，N，G，Qで表示しており、これらに対応する点数および合否は以下の一覧のとおりです。

成績通知書 成績照会画面の表示	A＋	A	B	C	P	N	G	Q
成績証明書	A＋	A	B	C	P	記載無し	記載無し	記載無し
合否	合格					認定 （合格）	不合格	
点数	100～ 90	89～ 80	79～ 70	69～ 60	―	―	59～ 0	―
備考	―				研究指導、 修士論文、 インデペンデント・ スタディー、 博士論文のみ	入学前修 得単位の 認定時 のみ	―	研究指導、 修士論文、 インデペンデント・ スタディー、 博士論文のみ

（2）GPA（Grade Point Average）

① 対象科目

修了算入対象科目として登録した科目が対象となります。ただし、研究指導、修士論文、インデペンデント・スタディー、博士論文および認定科目「N」は GPA 計算の対象から除外されます。

② 計算式

科目の成績評価に対して Grade Point と呼ばれる換算値（A⁺は4点、A は3点、B は2点、C は1点、不合格(G)は0点）が決められています。それぞれの「科目の単位数」と「成績評価の Grade Point」の積の総和を「総登録単位数」で割って、スコア化したものが GPA（Grade Point Average）です。総登録単位数には、不合格科目の単位も含まれます。これを式で表すと、次のようになります。

$$\frac{(A^{+}\text{修得単位数}\times 4)+(A\text{ 修得単位数}\times 3)+(B\text{ 修得単位数}\times 2)+(C\text{ 修得単位数}\times 1)+(\text{不合格科目単位数}\times 0)}{\text{総登録単位数（不合格科目を含む）}}$$

※GPA は、小数第2位まで表示します。（小数第3位は、四捨五入とします。）

③ GPA の通知・証明

GPA は、成績通知書・MyWaseda の成績照会に記載されます。また、GPA 対象科目の成績および GPA が記載された「GPA 証明書」を発行します。なお「成績証明書」には、GPA は記載されません。

（3）成績の通知・発表

成績は、MyWaseda にて本人に通知されます。在学中の成績が全て記載されますので、確認のうえ、次学期の科目登録を行ってください。

	発表時期
春学期	9月上旬
秋学期	3月上旬